

第8章 1. 東アジア・東南アジア世界の動向 a. 明の興亡(2)

1368年、[1 紅巾]の乱の首領のひとりであった[2 朱元璋] (= 洪武帝)が、地主層の支持をえて[3 明]を建てた(首都[4 南京])。この王朝は宋以来の[5 漢]民族自身による統一政権であり、洪武帝はこういった[6 民族意識]を利用し、皇帝の独裁的な専制権力をうちたてた。

中央では、[7 中書]省や宰相を廃止し行政機関である[8 六部]を直属にして皇帝の独裁権をつよめた。地方では土地・人民の支配強化をはかった。土地台帳[9 魚鱗図冊]を整備し、租税台帳[10 賦役黄冊]もつくった。また村の連帯責任制を強化する[11 里甲]制をはじめ、道徳の強制するため[12 六諭]の公布をおこなった。

14世紀末、[13 靖難]の変が発生、[14 永楽]帝が皇帝の地位を奪い首都を[15 北京]に移した。かれは[16 鄭和]を南海地方への大遠征に派遣、明の勢力はインド洋にも及んだ。しかしその後は[17 北虜南倭]とよばれる周辺民族の侵入に苦しんだ。

16世紀には[18 張居正]の改革などもあったが、辺境での反乱や朝鮮への[19 豊臣秀吉]の侵入などで混乱がつづき、中央でも官僚や[20 宦官]の間の対立が激化、ついに農民反乱である[21 李自成]の乱が発生、明は滅亡した。

b. 明代後期の社会と文化

- ①朝貢貿易の広がり → 東アジアから[22 インド洋]へ広がる  
[23 琉球]の繁栄  
↓  
•16世紀、[24 大航海]時代の始まり=世界的商業の繁栄  
•北虜南倭の活発化
- ②明、[25 海禁]政策を緩和=貿易の活発化  
•日本銀、メキシコ銀の流入→[26 銀]の流通増加 → 一条鞭法の導入
- 貿易の拡大→商工業の発展=[27 綿花]の栽培、生糸生産、[28 景德鎮]などでの陶磁器生産
- ③長江下流域…[29 家内制手工業] (絹織物や[30 綿織物])の活発化  
→商品作物([31 綿花][32 桑])の栽培の増加  
穀物栽培…[33 長江中流域]流域中心に([34 湖広]熟すれば天下足る)
- ④商業の発達…[35 徽州]商人、[36 山西]商人など特権商人の活躍、  
(新安)
- ⑤都市文化の繁栄→木版印刷による[37 書物]出版の活発化  
ア) 庶民文学の発展=[38 小説]の流行  
小説…[39 『三国志演義』][40 水滸伝][41 西遊記][42 『金瓶梅』]  
戯曲…牡丹亭還魂記  
イ) 明学([43 陽明]学)…[44 王陽明]がおこす  
[45 心即理]を主張し、[46 朱子]学を批判、[47 知行合一]と実践を強調する  
ウ) 実学の活発化  
科学技術書の出版…[48 『本草綱目』](李時珍)、[49 『農政全書』](徐光啓)  
[50 『天工開物』](宋応星)、「崇禎曆書」([51 徐光啓]+アダム=シャルルら)

⑥西洋文明の導入…イエズス会の[52 フランシスコ=ザビエル]が中国布教をめざす→病死

[53 マテオ=リッチ]ら、ヨーロッパ文化の紹介を通じて士大夫層に接近→布教を認められる。

2. 清代の中国と隣接諸地域 a. 清朝の統治

- ①16世紀末、[54 女真]族(満州人)の[55 ヌルハチ]が自立→1616年、[56 後金]建国  
軍事行政制度=[57 八旗]を編成、独自の[58 満州]文字を制作
- ②2代[59 ホンタイジ](太宗)、内モンゴルへも進出、皇帝を自称し国号を[60 清]に改める
- ③1644年、明の滅亡に乘じ、明の将軍、[61 呉三桂]らの先導で中国本土に侵入  
→中国全土を支配(3代順治帝)
- ④4代[62 康熙]帝、[63 三藩]の乱で呉三桂らを倒す  
→[64 鄭成功]らを倒し、[65 台湾]をも支配
- ⑤全盛期…[66 康熙]帝、[67 雍正]帝、[68 乾隆]帝の三代130年

清は[69 17]世紀初頭、[70 女真]族の[71 ヌルハチ]が中国東北部で建てた後金が始まり。1644年李自成の乱で[72 明]が滅亡した混乱の中、明の武将、地主ら漢民族支配層の協力も得て、順治帝が中国本土に侵入、中国全土を征服した。  
そして漢民族の将軍たちを[73 三藩]の乱を平定、[74 17]世紀から[75 18]世紀の[76 康熙][77 雍正][78 乾隆]の三人の皇帝の頃全盛となった。

⑥清の支配…[79 アメとムチ]の政策をとる。

- ア) アメの政策(懐柔策)=官制などは[80 明]をひきつぐ  
•官僚の[81 満漢併用]制=官職の半数は[82 科挙]により採用した漢人官僚  
→[83 漢人地主]の利害を保護する、ただし重要ポストは満人  
•伝統文化の奨励=学者を優遇する  
大編纂事業=[84 『康熙字典』][85 古今圖書集成][86 『四庫全書』]→考証学の発展

イ) ムチの政策(抑圧策)

- [87 辮髪](満州民族の風俗)の強制  
•言論弾圧…禁書、[88 文字の獄]

少数民族の王朝である清が多数の漢民族を支配するためいわゆる「[89 アメ]と[90 ムチ]の政策」をとった。つまり、一方では「康熙字典」などの大編纂事業を行い伝統文化の尊重をとえつつ、他方では女真の風習である[91 辮髪]を強要したり、[92 禁書]や「[93 文字の獄]」など思想弾圧を加えた。[94 科挙]を残し地主らの支持を得ながらも、[95 満漢併用]制を採用し重要ポストは満州人で占めるなどの巧みな政策をとっていた。

